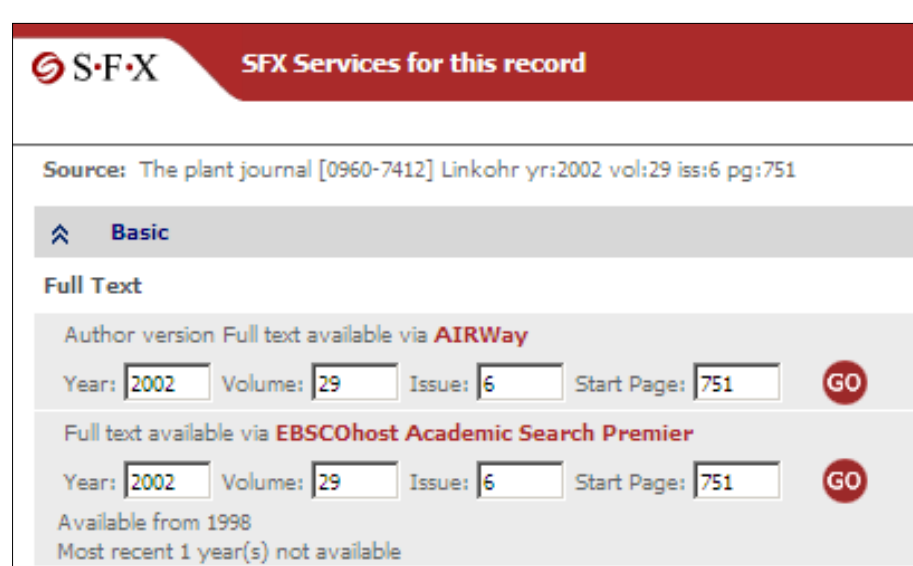


AIRway

機関リポジトリ上の情報資源の発見及びアクセス性の向上のための調査研究開発(領域2)
主担当機関: 北海道大学; 分担機関: 九州大学
airway@lib.hokudai.ac.jp

AIRwayとは

リンクリゾルバを使用し、文献データベースから電子ジャーナルだけではなく、機関リポジトリに搭載された文献へ利用者を導く



AIRway平成20年度活動

(1) 対応リンクリゾルバの拡大

ExLibris社SFXグローバルバージョンのソースターゲットに採用されました！

(2) 対応機関リポジトリの拡大

- ① IRDB(JAIRO対応全機関)をリンク解決対象に追加
- ② 国外15機関をリンク解決対象に追加

搭載レコード数約9万件 → 約27万件に大幅増加！

Repositories in AIRway 2009年3月現在		Items
UK	Cranfield CERES	315
UK	White Rose Research Online	2,187
UK	Bournemouth University Research Online [BURO]	203
UK	Strathprints	704
UK	Durham Research Online	464
UK	KAR - Kent Academic Repository	352
UK	NERC Open Research Archive	456
UK	Opus	98
UK	Open Research Online	803
UK	Westminster Research	316
DE	Max Planck Society eDoc Server	652
DE	OAI-Repository des GBV	309
IN	Dspace@nitr	130
AU	Queensland University of Technology ePrints Archive	4,192
US	Deep Blue at the University of Michigan	24,201
US	PubMed Central (PMC)	33,212
JP	IRDB(学術機関リポジトリデータベース by NII)	200,000

ただし以下の問題が浮き彫りに！
世界中のリポジトリをピックアップして調査したが、以下の問題があるため、AIRwayに取り込みすることができないリポジトリが大多数。(Junii2は全て対応)

1. 論文の書誌情報(ISSN, Volume, Issue等)を機械可読可能な形式で保持しているリポジトリは少ない。
2. 論文が出版社版なのか著者版なのかがメタデータからは判別できない。
3. フルテキストが利用可能かどうか分からない。

つまり出版社版と著者版を結び付けられ、かつ本文が読めるかどうか判別できるメタデータを出力(もしくは保持)しているリポジトリは少ない

(3) AIRway利用状況調査

実際にどの程度の利用者が機関リポジトリにアクセスしたのかAIRwayシステムのログ、HUSCAPのログから推定値を算出した。その結果リゾルバ中間窓に表示されたAIRwayリンクのうち約7%がクリックされたと推定できた。
結果AIRwayは電子ジャーナルへのアクセス権限のない潜在的読者を機関リポジトリに導くことにより、対応リンクリゾルバ導入機関に対する当該文献の**可視性を7%向上させた**と言える。

リンクリゾルバによるオープンアクセス文献へのナビゲーションにおいては、より曖昧な情報から文献を特定しうるクエリー解決モジュールと、より広汎なウェブサービスへの適用を可能とする汎用性の確保が必要であるという観点から、新たなシステムの仕様要件策定およびプロトタイプ開発をおこないました。
この新版プロトタイプをAIRwayとの区別のため、JEEPwayと称することとしました。

AIRway平成21年度以降展望

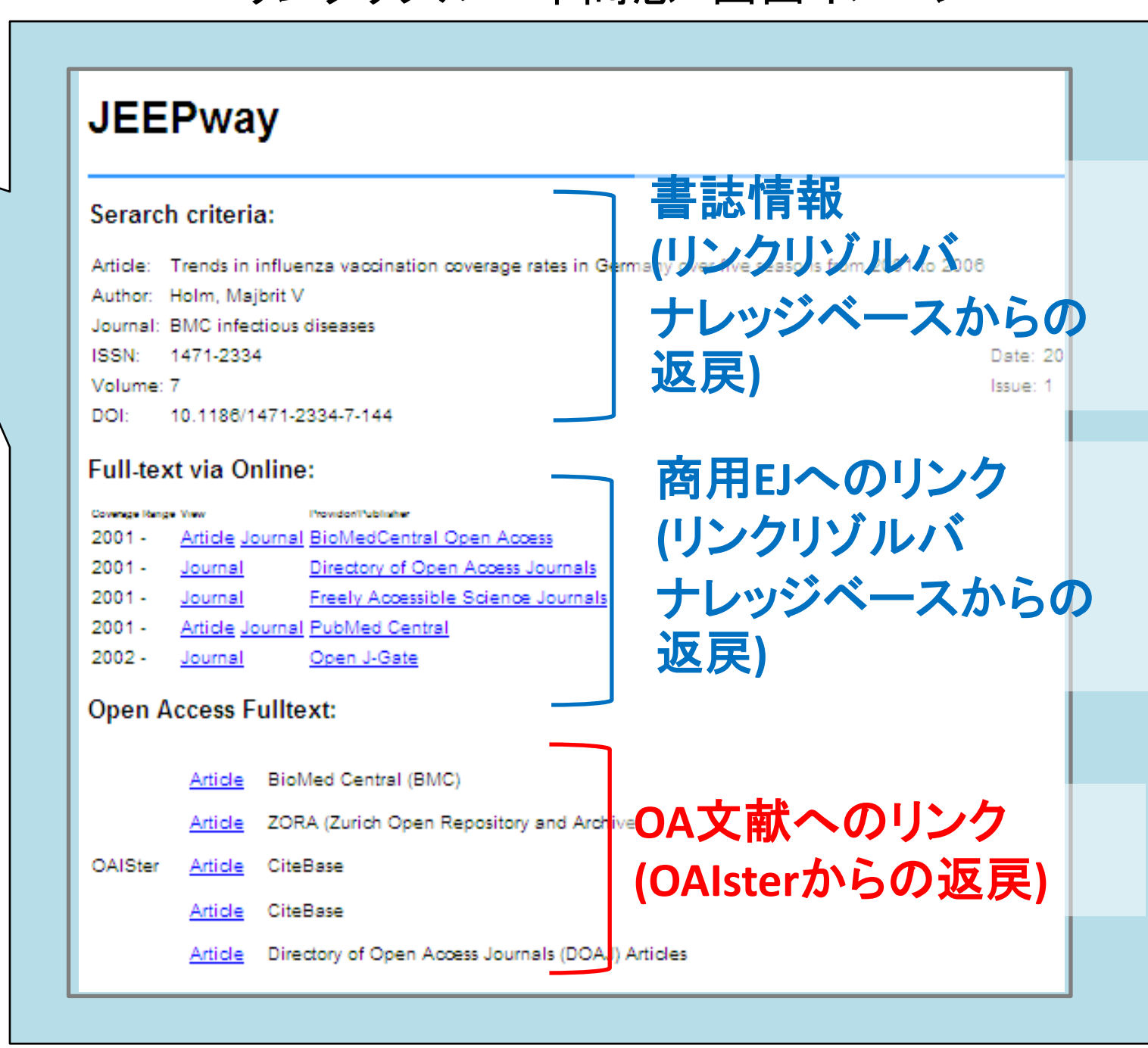
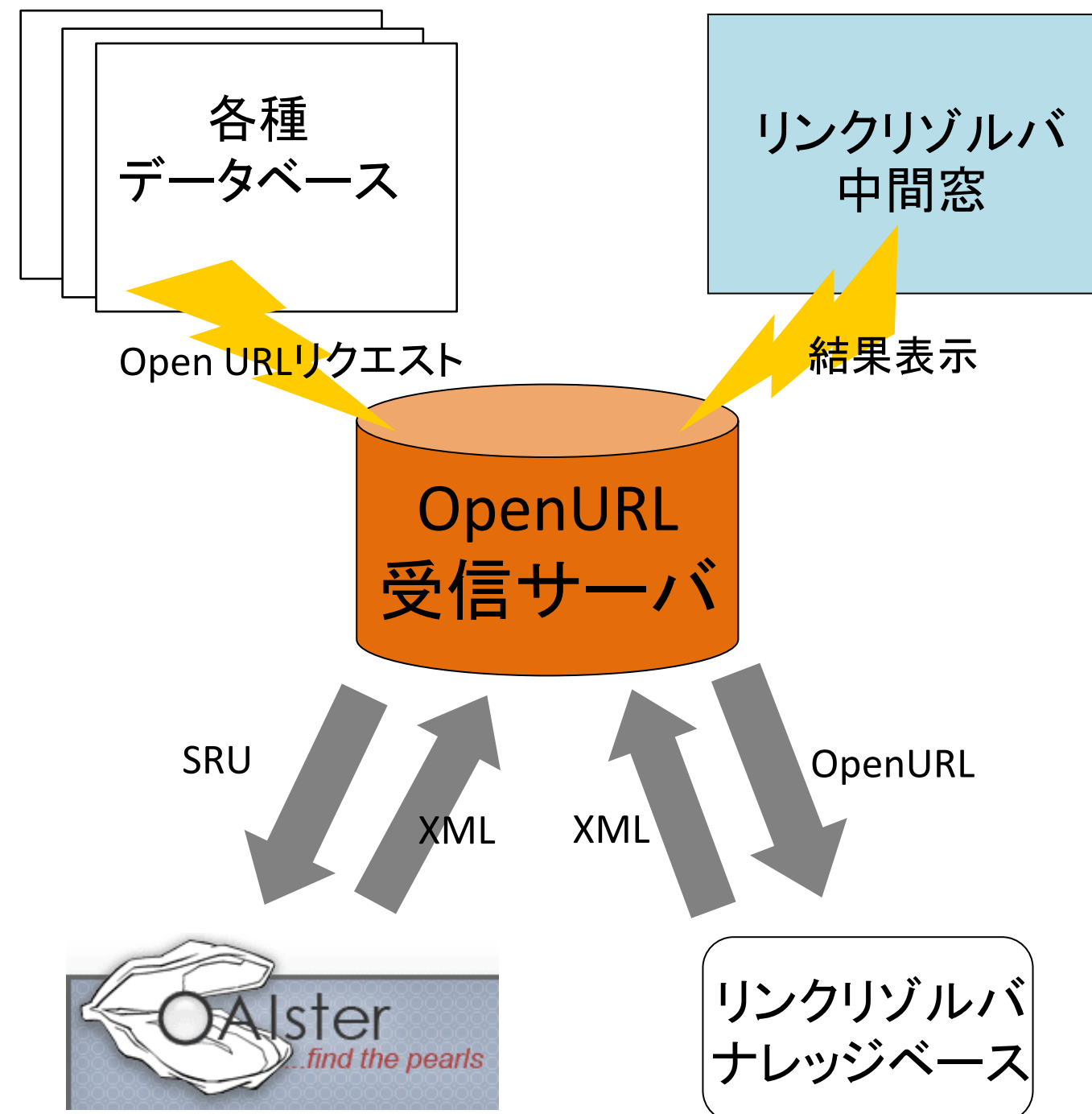
平成20年度の活動によって、我が国のjunii2を除き、OAI-PMHで流通するメタデータの多くは、フルテキストの有無に関する情報や版情報、機械可読の掲載誌書誌情報を持たない、また、これらが適切に記述されることによって、オープンアクセス文献の視認性は向上することがわかった。この本研究開発の成果を、提示可能な実運用モデルとしてAIRwayシステムの維持管理を行うことにより内外に提唱していきたい。

JEEPway

機関リポジトリ上の情報資源の発見及び
アクセス性向上のための調査研究開発
分担機関: 九州大学

平成20年度のプロジェクトにおいては、OAIsterへのSRU(Search/Retrieve via URL) を利用したリンク解決により、世界中のリポジトリ文献に対するナビゲートを可能にした。
この新版プロトタイプを、AIRwayとの区別のため、**JEEPway**と称することとした。

リンクリゾルバ中間窓 画面イメージ



九州大学附属図書館eリソースサービス室リポジトリ係
qir@lib.kyushu-u.ac.jp